

## User's MANUAL

### はじめに

FieldMate ハンドヘルドコミュニケーター FieldMate 用データコンバータは FieldMate ハンドヘルドコミュニケーターで保存した機器設定ファイルを FieldMate 上で使用することを目的としたデータ連携ソフトウェアです。

FieldMate 用データコンバータの機能を下記に示します。

- ハンドヘルドコミュニケーターで作成された機器設定ファイルから、タイプ B HART Built-in DTM で利用できる DTM データに変換します。
- 変換した DTM データを FieldMate Advance の機器保全情報(DTM データ)に保存します。
- 変換した DTM データを PC のローカル環境上に DTM データのファイルとして保存します。

対応する FieldMate のレビジョンや言語に関しては下記の表の通りです。

対応する FieldMate のレビジョン	R2.05.00 以降
対応する FieldMate の Edition	Advance, Basic
対応する言語	日本語、英語

# 目次

はじめに .....	1
<b>1. FieldMate 用データコンバータ画面 .....</b>	<b>3</b>
1.1. メニュー一覧 .....	4
<b>1.1.1. 言語選択 .....</b>	<b>4</b>
1.2. 機器設定ファイル選択画面 .....	5
1.2.1. 機器設定ファイルのリスト表示 .....	6
<b>2. 機器設定ファイルの変換作業 .....</b>	<b>9</b>
2.1. 機器保全情報へ保存したい場合 (FieldMate Advance のみ有効) .....	9
2.2. ファイルへ保存したい場合 (FieldMate Basic/Advance 共に有効) .....	10
2.3. 機器設定ファイルのリスト表示 .....	11
2.4. ダイアログ一覧 .....	12
2.4.1. 機器保全情報の新規作成確認ダイアログ .....	12
2.4.2. 保存先の機器保全情報選択ダイアログ .....	12
2.4.3. データ上書き確認ダイアログ .....	13
2.4.4. 詳細表示ダイアログ .....	14
2.4.5. 必要な DD ファイルの一覧ダイアログ .....	15
<b>3. FieldMate への DD ファイル インストール方法 .....</b>	<b>16</b>
3.1. 「この機器に対して機器関連ファイルを設定」を使用する .....	16
<b>Appendix .....</b>	<b>19</b>
Appendix-A 対象となる機器設定ファイル .....	19

## 1. FieldMate 用データコンバータ画面

FieldMate ハンドヘルドコミュニケーターが PC に接続された状態で起動すると機器設定ファイル一覧が表示されます。



図 1-1 FieldMate 用データコンバータ画面

表 1-1 FieldMate 用データコンバータ画面

No.	識別名	概要
1	メニューバー	コンテンツに対して操作を行います。 メニューバーには 2 つのアイコンを表示します。 2 つのアイコンの機能に関しては、1.1 章を参照ください。
2	コンテンツ	各ページの内容を表示します。
3	ステータスバー	選択されている機器設定ファイルの個数を表示します。

## 1.1. メニュー一覧

メニューバーは2つのアイコンを表示します。  
それぞれのアイコンと、機能に関して説明します。

表 1-2 メニューアイコン一覧

No.	アイコン	機能
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドヘルドコミュニケータと通信し、機器設定ファイルリストを更新します。</li> <li>・機器設定ファイルリスト選択画面では操作可能、機器設定ファイルリスト確認画面では操作不可能になります。</li> </ul> <p>操作可能時：</p> <p>操作不可能時：</p>
2		<p>次の機能が利用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語選択</li> <li>・FieldMate 用データコンバータのバージョン情報を表示</li> <li>・ヘルプ機能：本マニュアルを表示します。</li> </ul> <p>機器設定ファイル選択画面，機器設定ファイル確認画面のどちらの画面でも操作可能になります。</p>

### 1.1.1. 言語選択

表示される言語を日本語または英語に変更します。

変更方法は、 アイコンを選択し、“言語”の項目から、“日本語”または“English”を選択します。

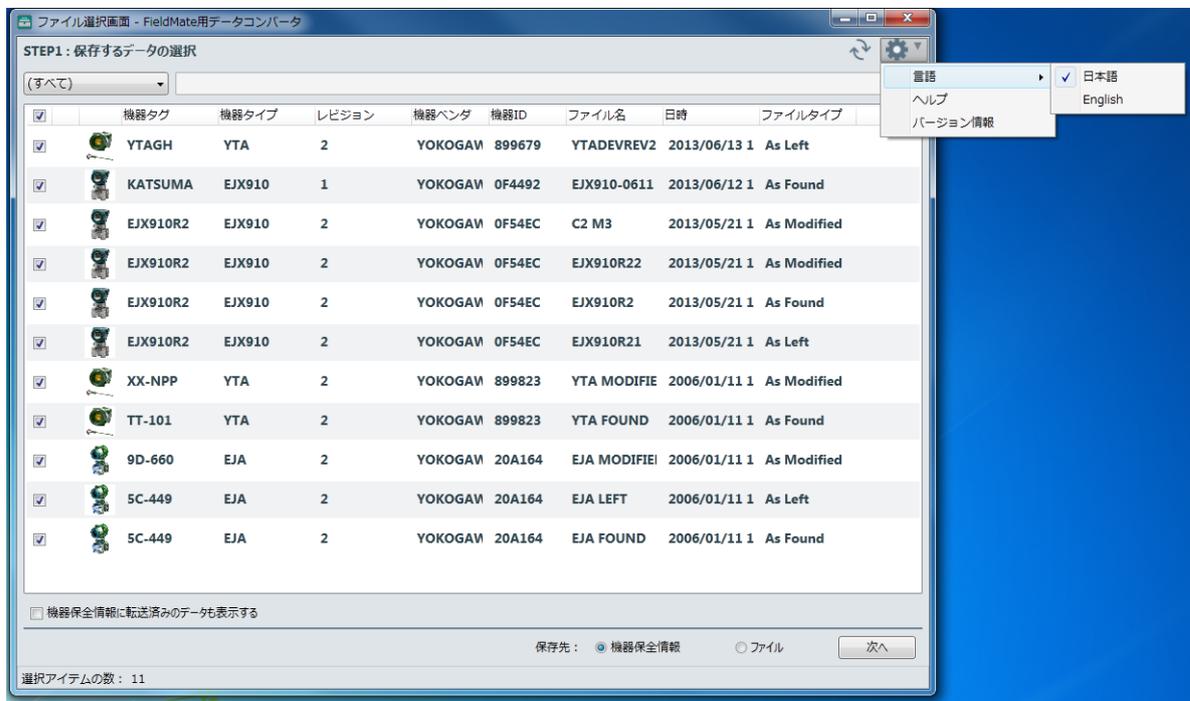


図 1-2 言語選択

## 1.2. 機器設定ファイル選択画面

機器設定ファイルのリストを表示します。

ハンドヘルドコミュニケータと通信に成功した場合、機器設定ファイルのリストが表示されます。

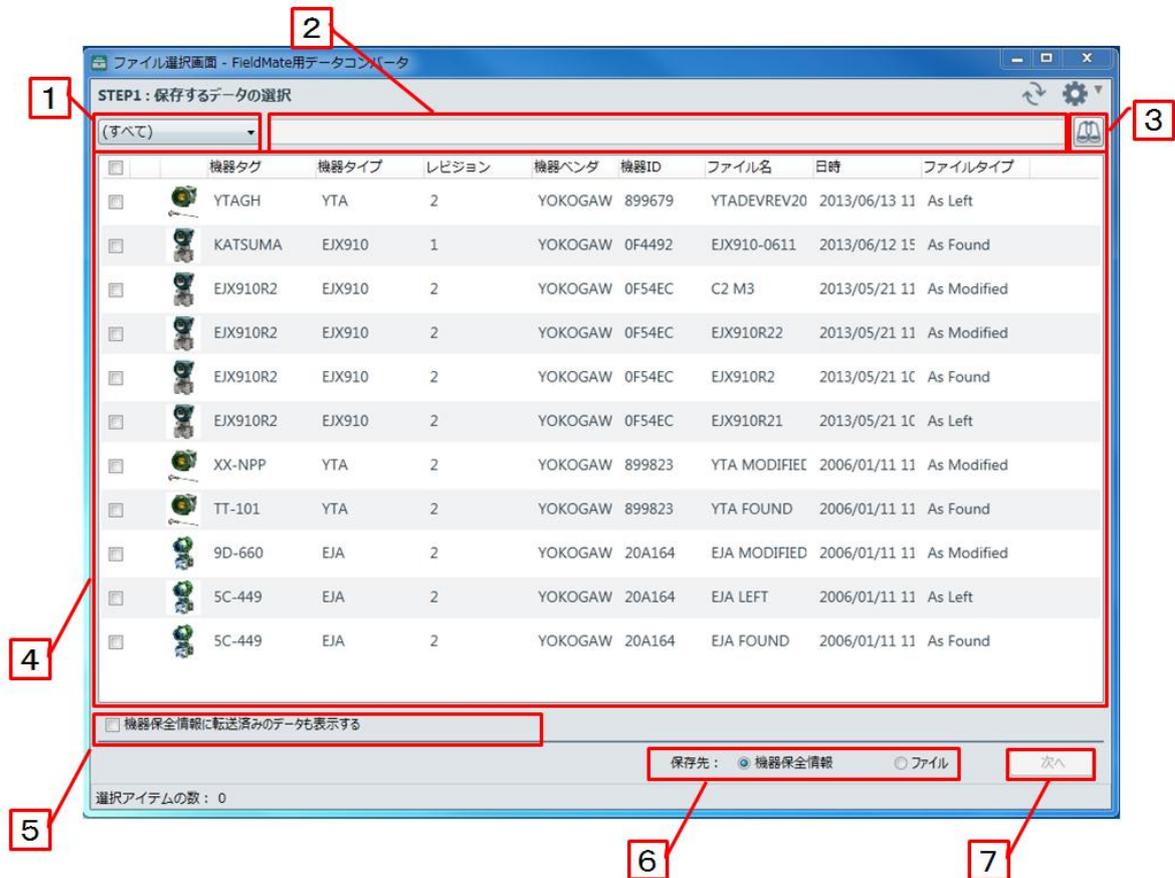


図 1-3 機器設定ファイルリスト表示画面

表 1-3 機器設定ファイルリスト表示画面

No.	機能名	機能仕様
1	検索カテゴリ	検索対象のカテゴリを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべて</li> <li>・機器タグ</li> <li>・機器タイプ</li> <li>・機器レビジョン</li> <li>・機器ベンダ</li> <li>・機器ID</li> <li>・ファイル名</li> <li>・日時</li> <li>・ファイルタイプ</li> </ul>
2	検索ワード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検索したい文字列の入力欄です。</li> <li>・文字の制限、文字数制限などはありません。</li> <li>・なお、入力欄で <b>Enter</b> キーを押すと、検索処理を実行します。</li> </ul>
3	検索ボタン	検索処理を実行します。
4	機器設定ファイルリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドヘルドコミュニケータに存在する機器設定ファイルのリストを表示します。</li> <li>・リスト表示に関しては、1.2.1 章を参照ください。</li> </ul>

5	フィルタリング機能	FieldMate の機器保全情報に既に保存済みのファイルを表示/非表示を切り替えるフィルタ機能です。
6	保存先の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの保存先を機器保全情報またはファイルを選択します。</li> <li>機器保全情報に保存する場合は、FieldMate Advance のみ有効です。</li> <li>ファイルへ保存する場合は、FieldMate は Basic/Advance 共に有効です。</li> </ul>
7	確認画面へ	機器設定ファイル確認画面へ移動します。

### 1.2.1. 機器設定ファイルのリスト表示

<input type="checkbox"/>	機器タグ	機器タイプ	レビジョン	機器ベンダ	機器ID	ファイル名	日時	ファイルタイプ
<input type="checkbox"/>	 YTAGH	YTA	2	YOKOGAW	899679	YTADEVREV20	2013/06/13 11	As Left
<input type="checkbox"/>	 KATSUMA	EJX910	1	YOKOGAW	0F4492	EJX910-0611	2013/06/12 15	As Found
<input type="checkbox"/>	 EJX910R2	EJX910	2	YOKOGAW	0F54EC	C2 M3	2013/05/21 11	As Modified
<input type="checkbox"/>	 EJX910R2	EJX910	2	YOKOGAW	0F54EC	EJX910R22	2013/05/21 11	As Modified
<input type="checkbox"/>	 EJX910R2	EJX910	2	YOKOGAW	0F54EC	EJX910R2	2013/05/21 10	As Found
<input type="checkbox"/>	 EJX910R2	EJX910	2	YOKOGAW	0F54EC	EJX910R21	2013/05/21 10	As Left
<input type="checkbox"/>	 XX-NPP	YTA	2	YOKOGAW	899823	YTA MODIFIED	2006/01/11 11	As Modified
<input type="checkbox"/>	 TT-101	YTA	2	YOKOGAW	899823	YTA FOUND	2006/01/11 11	As Found
<input type="checkbox"/>	 9D-660	EJA	2	YOKOGAW	20A164	EJA MODIFIED	2006/01/11 11	As Modified
<input type="checkbox"/>	 5C-449	EJA	2	YOKOGAW	20A164	EJA LEFT	2006/01/11 11	As Left
<input type="checkbox"/>	 5C-449	EJA	2	YOKOGAW	20A164	EJA FOUND	2006/01/11 11	As Found

図 1-4 機器設定ファイルリスト

表 1-4 機器設定ファイルリスト項目

表示順	表示項目	表示内容
1	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>変換したいデータに対して、チェックを行います。</li> <li>FieldMate の機器保全情報に既に保存済みのファイルはチェックを行えません。</li> </ul>
2		FieldMate の機器保全情報に既に保存したことがあるファイルに対してマークを表示します。
3	機器アイコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器アイコンを表示します。</li> <li>横河製機器以外の場合は、 HART のプロトコルアイコンになります。</li> </ul>
4	機器タグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器のタグを表示します。</li> <li>タグの表示項目は FieldMate Setup Tool の設定に応じて表示されます。</li> </ul>
5	機器タイプ	機器タイプ名を表示します。
6	機器レビジョン	機器レビジョンを表示します。 表示形式は 10 進数で表示します。
7	機器ベンダ	機器ベンダ名を表示します。
8	機器 ID	機器 ID を表示します。

		表示形式は 16 進数で表示します。
9	ファイル名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機器設定ファイルのファイル名を表示します。</li> <li>・ ハンドヘルドコミュニケータで機器設定ファイルを保存した際のファイル名を表示します。</li> </ul>
10	日時	ハンドヘルドコミュニケータがファイルを保存した日時を表示します。
11	ファイルタイプ	ハンドヘルドコミュニケータで保存した時のファイルタイプを表示します。

リスト中にあるデータをチェックすると、図 1-5 のように、選択した項目の文字が太字になります。

またヘッダ項目にあるチェックボックスをチェックすると、ページ内のデータを全選択した状態とします。また、チェックを外すと全解除となります（図 1-6 参照）。



図 1-5 データの選択

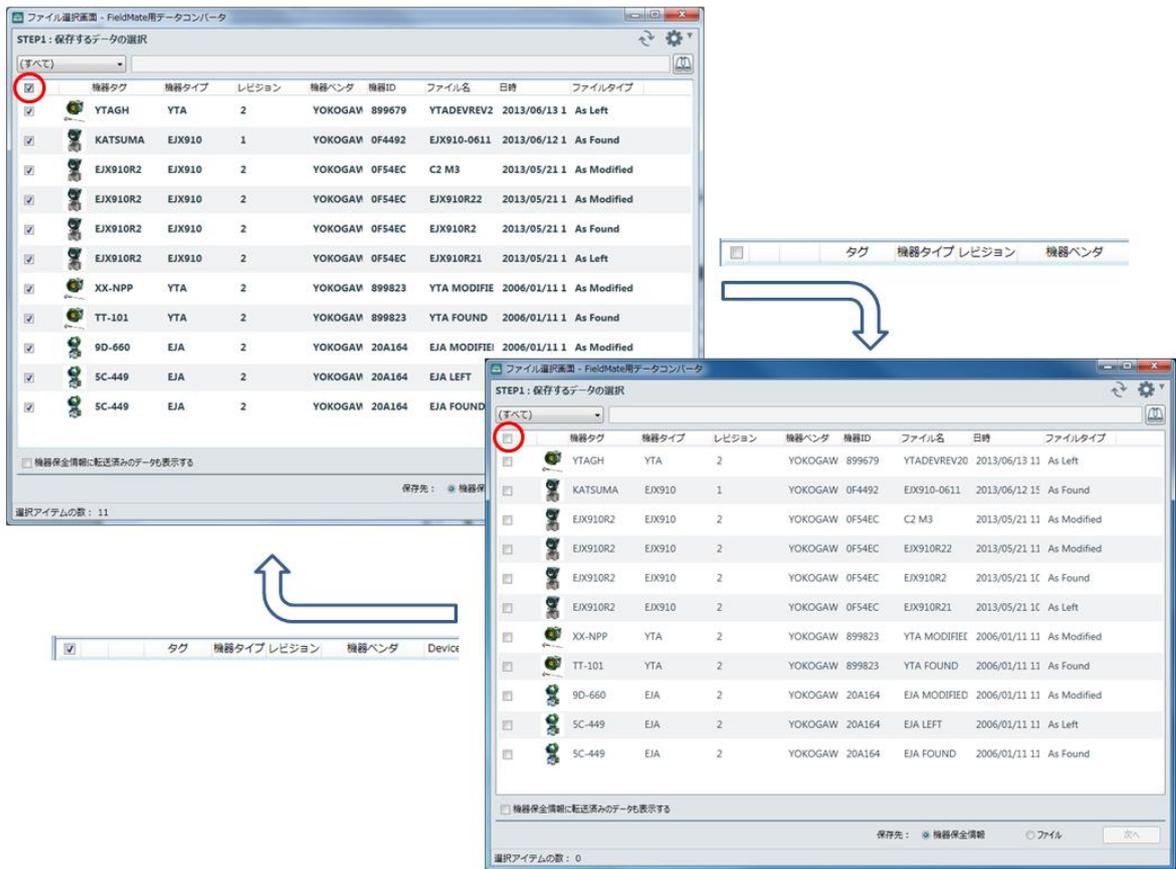


図 1-6 ページ内データの全選択 ON/OFF

## 2. 機器設定ファイルの変換作業

### 2.1. 機器保全情報へ保存したい場合（FieldMate Advance のみ有効）

機器設定ファイル選択画面において、保存先を「機器保全情報」にチェックを入れ、保存を行いたいファイルを選択後、「次へ」のボタンを押すと、機器保全情報に保存するデータの確認画面へ移動します。

表示される確認画面を下記に示します。



図 2-1 機器設定ファイル確認画面（機器保全情報に保存する場合）

表 2-1 機器設定ファイル確認画面（機器保全情報に保存する場合）

No.	機能名	機能仕様
1	機器設定 ファイルリスト	選択した機器設定ファイルのリストを表示します。 リストの表示に関しては、2.3 章を参照ください。
2	機器保全情報の自 動作成チェック	対象となる機器保全情報が FieldMate に存在しない場合、 自動的に作成するかどうかの指定を行います。
3	プログレスバー	変換処理の途中経過を表示します。
4	戻るボタン	1 つ前の画面に戻ります。
5	転送ボタン	変換処理を開始し機器保全情報に保存します。

保存する機器設定ファイルを確認後、転送ボタンを選択することで処理が開始されます。処理開始後、特定の条件を除けば自動的に機器設定ファイルは DTM データに変換され、機器保全情報に保存します。

特定の条件に合致した場合は、確認ダイアログが表示されます。

それぞれの条件と条件に合った確認ダイアログに関しては、2.4 章を参照ください。

## 2.2. ファイルへ保存したい場合（FieldMate Basic/Advance 共に有効）

機器設定ファイル選択画面において、保存先を「ファイル」にチェックを入れ、保存を行いたいファイルを選択後、「次へ」のボタンを押すと、ファイルに保存するデータの確認画面へ移動します。

表示される確認画面を下記に示します。



図 2-2 機器設定ファイル確認画面（ファイルに保存する場合）

表 2-2 機器設定ファイル確認画面（ファイルに保存する場合）

No.	機能名	機能仕様
1	保存先の指定	DTM データ(.dns)を保存する先のフォルダを指定します。 参照... を選択するとフォルダ選択ダイアログが表示されます。
2	機器設定ファイルリスト	選択した機器設定ファイルのリストを表示します。 リストの表示仕様に関しては、2.3 章を参照ください。
3	プログレスバー	変換処理の途中経過を表示します。
4	戻るボタン	1 つ前の画面に戻ります。
5	出力ボタン	変換処理を開始し保存先フォルダにデータを保存します。

保存する機器設定ファイルを確認後、出力ボタンを押すことで処理が開始されます。変換処理は自動で行われすべての処理が完了すると保存先フォルダに DTM データを保存します。

### 2.3. 機器設定ファイルのリスト表示

変換対象となる機器設定ファイルのリスト表示を示します。

	機器タグ	機器タイプ	ファイル名	日時	理由
	YTAGH	YTA	YTADEVREV20612	2013/06/13 11:52	YTADEVREV20612 : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2013/06/13 11:52
	KATSUMA	EJX910	EJX910-0611	2013/06/12 15:21	EJX910-0611 : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2013/06/12 15:21
	EJX910R2	EJX910	C2 M3	2013/05/21 11:20	C2 M3 : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2013/05/21 11:20
	EJX910R2	EJX910	EJX910R22	2013/05/21 11:18	EJX910R22 : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2013/05/21 11:18
	EJX910R2	EJX910	EJX910R2	2013/05/21 10:54	EJX910R2 : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2013/05/21 10:54
	EJX910R2	EJX910	EJX910R21	2013/05/21 10:54	EJX910R21 : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2013/05/21 10:54
	XX-NPP	YTA	YTA MODIFIED	2006/01/11 11:56	YTA MODIFIED : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2006/01/11 11:56
	TT-101	YTA	YTA FOUND	2006/01/11 11:53	YTA FOUND : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2006/01/11 11:53
	9D-660	EJA	EJA MODIFIED	2006/01/11 11:36	EJA MODIFIED : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2006/01/11 11:36
	5C-449	EJA	EJA LEFT	2006/01/11 11:27	EJA LEFT : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2006/01/11 11:27
	5C-449	EJA	EJA FOUND	2006/01/11 11:23	EJA FOUND : Data from FieldMate Handheld Communicator on 2006/01/11 11:23

図 2-3 機器設定ファイルリスト表示

表 2-3 機器設定ファイルリスト項目

表示順	表示項目	表示内容
1		機器設定ファイルの詳細を表示します。2.4.4 章を参照ください。
2	機器タグ	機器のタグを表示します。 機器タグの表示形式は、FieldMate Setup Tool で設定された表示形式で表示します。
3	機器タイプ	機器タイプ名を表示します。
4	ファイル名	機器設定ファイルのファイル名を表示します。 ハンドヘルドコミュニケーターで機器設定ファイルを保存した際のファイル名を表示します。
5	日時	ファイルの保存日時を表示します。 表示形式は、年月日時分を表示します。
6	理由	FieldMate の機器保全情報に保存する際の「理由」入力項目を表示します。 デフォルト値として、「[ファイル名] Data from FieldMate Handheld Communicator on [変換日時]」が入力されています。 本項目はファイルに保存する際には、保存するときのファイル名の入力項目となります。
7	変換状態	ファイル変換を行ったかどうかの状態を表示します。 状態は次の 2 通りです。 : 変換を実施し、処理が成功した場合 : 変換をスキップした場合

## 2.4. ダイアログ一覧

### 2.4.1. 機器保全情報の新規作成確認ダイアログ

機器保全情報へ保存する場合、次の条件がすべて成立した場合に表示されます。

- 保存する対象の機器設定ファイルデータの機器 ID に対応する機器保全情報が存在しない
- 「自動的に機器保全情報を作成する」にチェックが入っていない
- 同じ機器タイプ、機器レビジョンの機器保全が存在するが、機器保全情報内に対象となる機器設定ファイルと同じ機器 ID の機器保全情報が存在しない

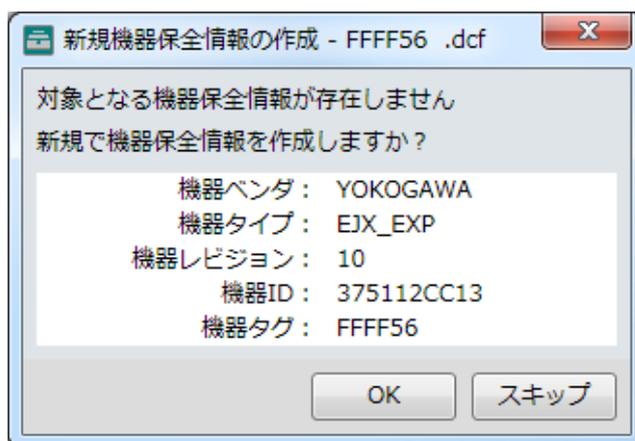


図 2-4 新規作成確認ダイアログ

OK を押した場合は、新規に機器保全情報を機器設定ファイルが持っている機器 ID を元に作成し、DTM データを保存します。

スキップを押した場合は、処理をスキップします。

### 2.4.2. 保存先の機器保全情報選択ダイアログ

機器保全情報へ保存する場合、次の条件がすべて成立した場合に表示されます。

- 保存する対象の機器設定ファイルデータの機器 ID に対応する機器保全情報が存在しない
- 「自動的に機器保全情報を作成する」にチェックが入っていない
- 同じ機器タイプ、機器レビジョンの機器保全情報で、機器 ID が空白となっている機器保全情報が存在する

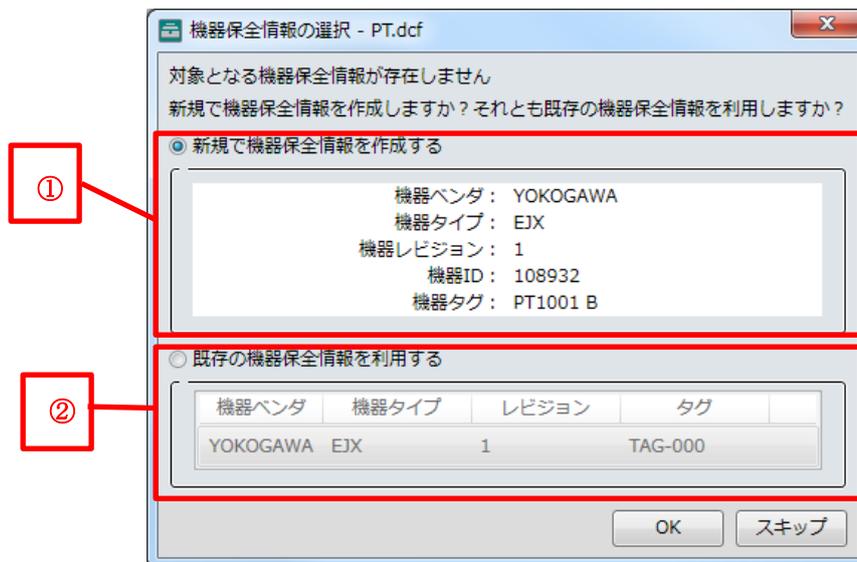


図 2-5 選択確認ダイアログ

- ① 「新規で機器保全情報を作成する」を選択している場合  
OKを押した場合は、新規に機器保全情報を機器設定ファイルが持っている機器 ID を元に作成し、DTM データを保存します。
- ② 「既存の機器保全情報を利用する」を選択している場合  
機器 ID が空白の機器保全情報がリスト内に表示されます。  
リスト内機器保全情報を選択し OK を押した場合は、機器設定ファイルが持っている機器 ID を選択した機器保全情報の機器 ID とし、DTM データを保存します。

スキップを選択した場合は、本機器設定ファイルの転送処理をスキップします。

### 2.4.3.データ上書き確認ダイアログ

機器保全情報へ保存する場合、次の条件が成り立つときに表示されます。

- 保存しようとする機器保全情報の DTM データが 5 個存在するとき

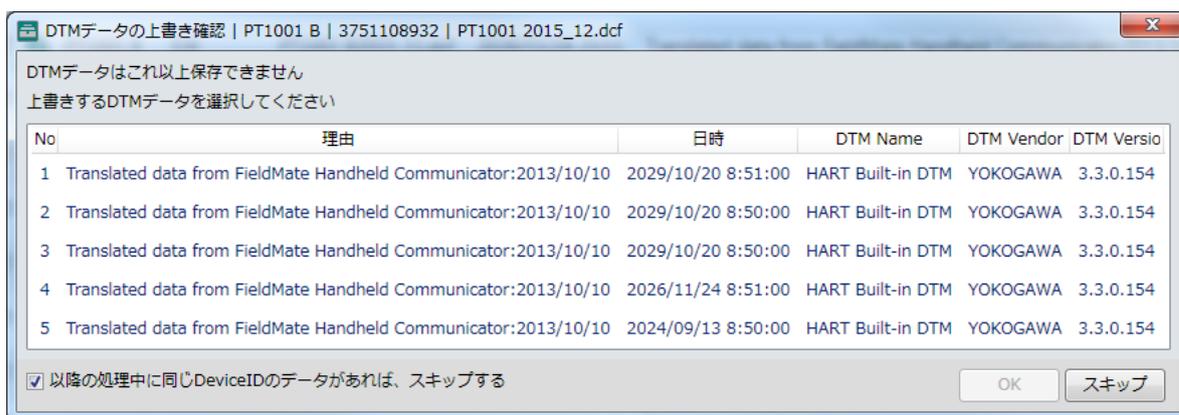


図 2-6 DTM データ上書き確認ダイアログ

上書きデータを選択して OK を押した場合は、データが上書きされ保存されます。  
スキップを押した場合は、処理をスキップします。

「以降の処理中に同じ機器 ID のデータがあれば、スキップする」にチェックを付けていた場合、以降の処理で同じ機器 ID のデータは自動的に処理をスキップします。

#### 2.4.4. 詳細表示ダイアログ

機器設定ファイル確認画面において、 を選択すると、変換する対象データの詳細を表示します。

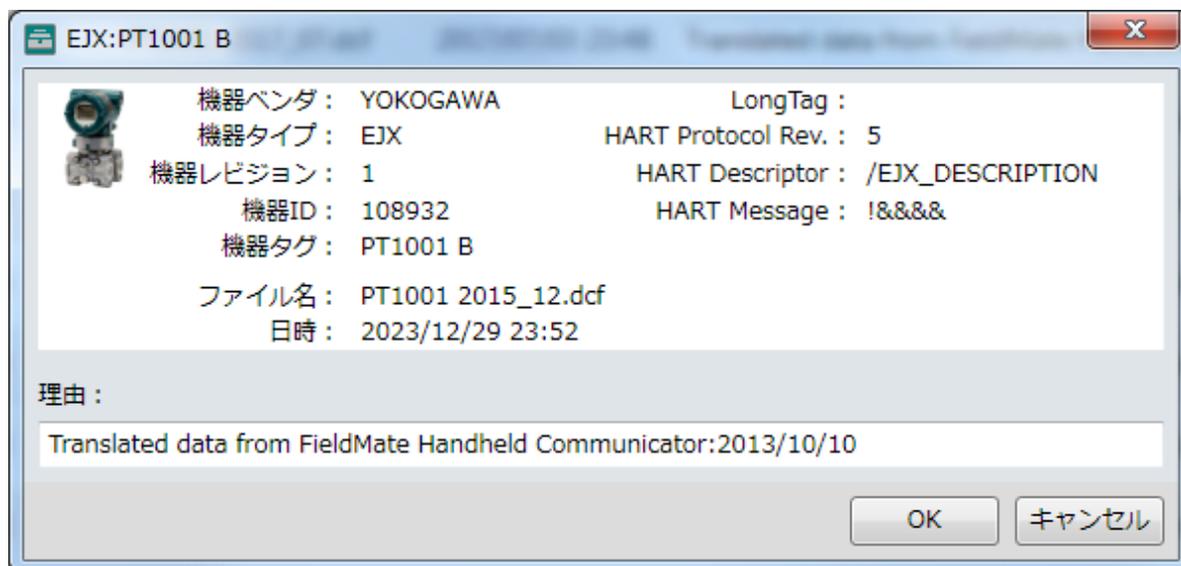


図 2-7 詳細表示ダイアログ

表示項目は次の通りです。

表 2-4

機器ベンダ名	機器ベンダ名を表示します。
機器タイプ	機器タイプ名を表示します
機器レビジョン	機器レビジョンを表示します。 表示形式は 10 進表記とします。
機器 ID	機器 ID を表示します。 表示形式は 16 進数で表示します。
機器タグ	機器タグを表示します。
LongTag	機器の Long Tag を表示します。
HART Protocol Rev.	HART のプロトコルレビジョンを表示します。
HART Descriptor	HART の Descriptor の値を表示します。
HART Message	HART の Message の値を表示します。
ファイル名	DCF のファイル名を表示します。
日時	DCF の日時を表示します。
理由 or 保存ファイル名	入力する”理由”、または”保存ファイル名”を表示します。 機器保全情報に保存を選択した場合は、この項目は”理由”となり、 ファイルに保存を選択した場合は”保存ファイル名”となります。

## 2.4.5.必要な DD ファイルの一覧ダイアログ

DTM データへの変換処理を終えた後、次のダイアログが表示されることがあります。



図 2-8 必要な DD ファイル一覧ダイアログ

変換したデータを HART Built-in DTM で表示するためには、対象となる機器設定ファイルの DD ファイルが必要です。

従って、FieldMate に DD ファイルがインストールされていない機器タイプ、機器レビジョンに対しては変換処理をスキップし、必要な DD ファイルの一覧リストを表示します。

本ダイアログが表示された場合は、FieldMate 用データコンバータを終了し、FieldMate に DD をインストールしてください。

(FieldMate に DD ファイルをインストールする方法に関しては、3 章を参照ください。)

その後、再度 FieldMate 用データコンバータを起動し、対象の機器設定ファイルを DTM データに変換/保存してください。

### 3. FieldMate への DD ファイル インストール方法

FieldMate への DD ファイルのインストール方法を記載します。

#### 3.1. 「この機器に対して機器関連ファイルを設定」を使用する

FieldMate のセグメントビューもしくは機器ナビゲータにてインストールしたい機器を選択し、HART の DD ファイルを追加インストールします。

- 起動方法

セグメントビューもしくは機器ナビゲータにて機器を選択し、「アクション」メニューから「この機器に対して機器関連ファイルを設定」を選択します。

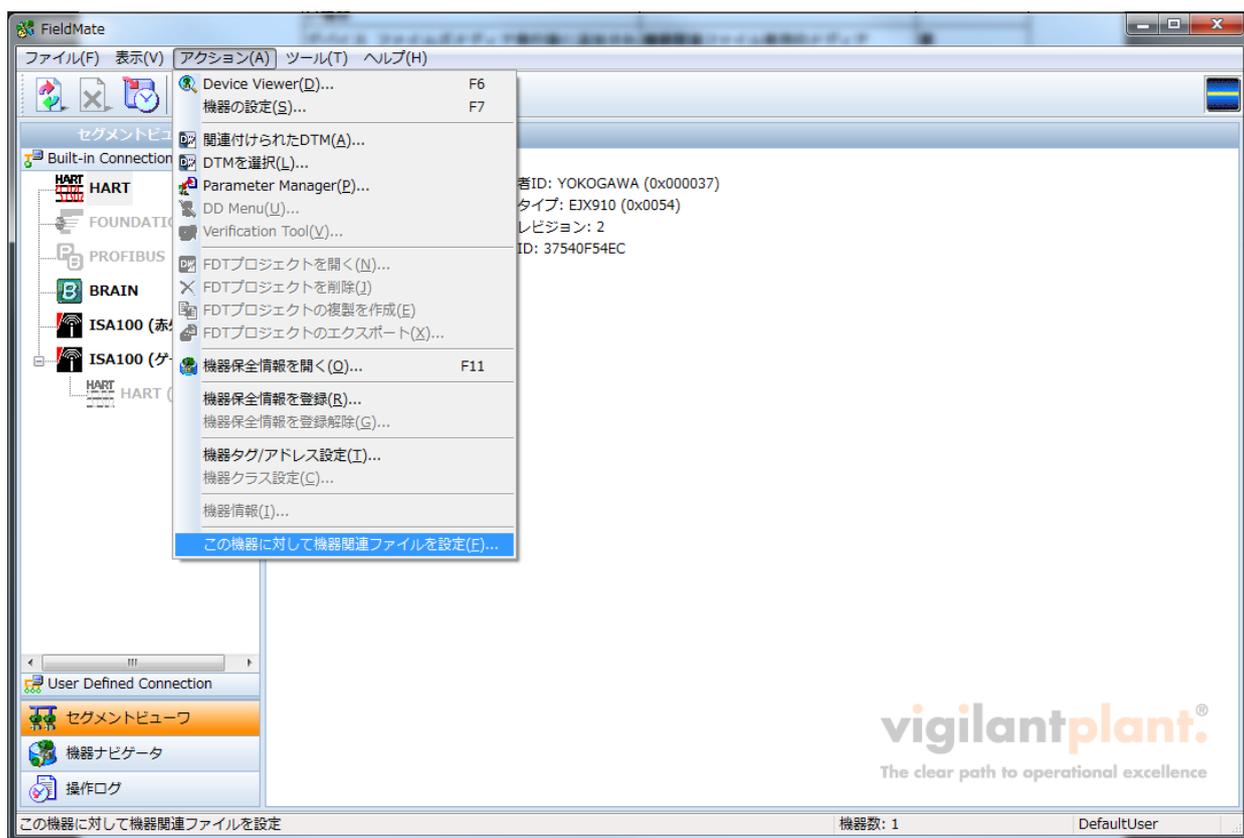


図 3-1 FieldMate セグメントビュー

「この機器に対して機器関連ファイルを設定」を選択すると、下記のダイアログが表示されます。

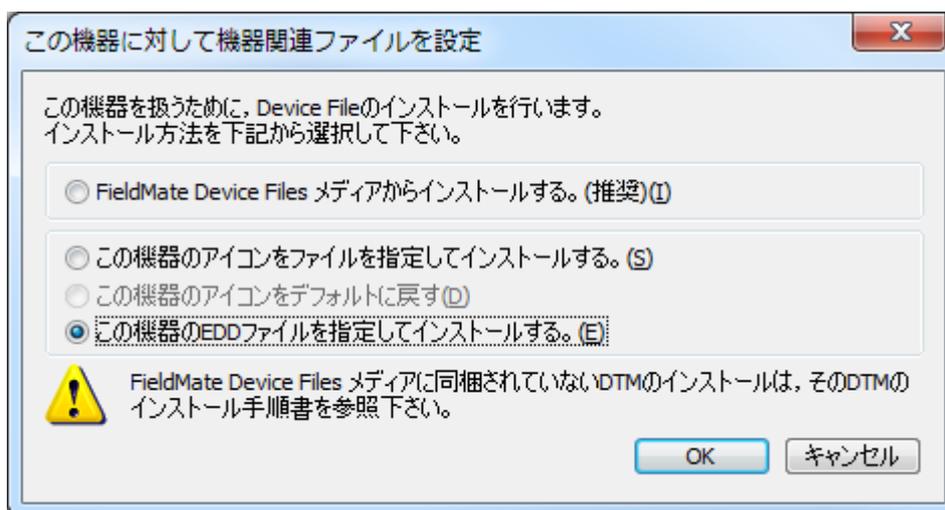


図 3-1 この機器に対して機器関連ファイルを設定

「この機器の EDD ファイルを指定してインストールする」にチェックを付けて、OK ボタンを選択します。

OK ボタンを選択すると、フォルダ選択ダイアログが表示されますので、インストールしたい DD ファイルの入ったフォルダを選択して OK を押します。

(インストールしたい DD ファイルは協会の Web サイトなどから入手します)

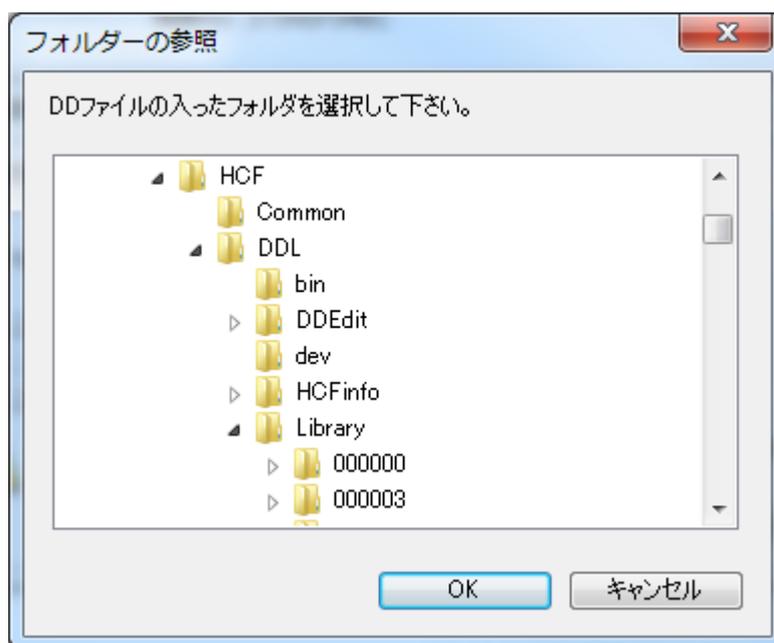


図 2-3 DD ファイルの選択

選択したフォルダの中に、インストールに適したファイルが見つかった場合は次のダイアログが表示されます。

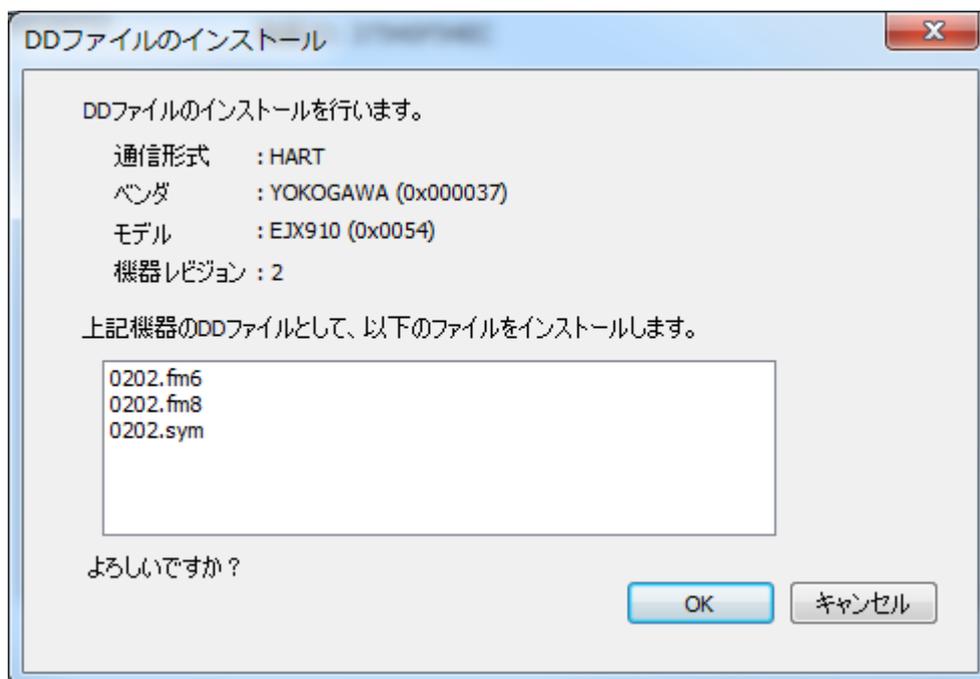


図 3-4 確認ダイアログ

確認ダイアログで OK を選択したら、DD のインストールは完了です。

## Appendix

### Appendix-A 対象となる機器設定ファイル

FieldMate ハンドヘルドコミュニケーター FieldMate 用データコンバータで対象とする機器設定ファイルは、次の条件のものを対象としています。

- ・ハンドヘルドコミュニケーターの言語設定が英語または日本語のときに作成された機器設定ファイル

※上記以外の機器設定ファイルは、ファイル選択画面に表示されません。